

6-4-2. 腐食環境下

(1) 点検・調査の単位

点検・調査の単位は、表 6-4-5 のとおりとする。

表 6-4-5. 点検・調査の単位

対象施設	点 検	調 査
管きよ	1 スパン単位	管きよ 1 本単位
マンホール	1 箇所単位	1 箇所単位
マンホールふた	ふた・受枠 1 組単位	ふた・受枠 1 組単位

(2) 点検の項目

点検の項目を表 6-4-6 に示す。

表 6-4-6. 点検の項目

点 検 項 目		点 検 内 容
地表面の状況		① 亀裂、沈下、陥没の有無 ② いっ水の有無 ③ 周辺状況との確認
管きよ内部の 状況 (管口からの 可視範囲)	流下および堆積の状況	① 滞水、滞流の有無 ② 土砂、竹木、モルタルの有無（工事の残材、不法投棄物等） ③ たるみ、蛇行、閉塞の有無 ④ 油脂類の付着の有無 ⑤ 侵入根の有無
	損傷の状況	① 破損、クラック、腐食、摩耗の有無 ② 継手のズレ、段差の有無 ③ 本管の管口不良の有無 ④ 取付け管の突き出しの有無
	不明水の状況	① 地下水の浸入の有無
その他		① 悪質下水の流入の有無 ② 有害ガス、臭気の発生の有無

出典：下水道維持管理指針 実務編-2014年版-公益社団法人日本下水道協会 P.93

6-5. 点検・調査対象施設・実施時期の設定

事業実施開始年度について、腐食環境下の施設の点検は令和4年度から、一般環境下の施設の調査は令和7年度からとし、令和4年度から令和9年度の点検・調査計画の実施時期と事業量を示す。

6-5-1. 一般環境下

調査は、「6-3. 優先順位の設定」で述べたとおり、リスク評価の結果に基づき、優先度の高い順に調査を行う。ただし、あきる野市は図2-1-26に示す処理分区「あきる野第一一ノ谷」と「あきる野第十二山田」の一部区域において雨天時浸入水が確認されている。同区域を「雨天時浸入水発生区域」と設定し、早期調査による施設の状態把握を行うため、当該区域は表6-3-1の優先順位に関わらず、優先順位1位の処理分区と合わせて調査を行う。

調査の実施時期と事業量を表6-5-1に示す。なお、対象ブロックは後述の「6-8. 点検・調査計画のとりまとめ」の結果から、細分化したブロックを適用した。

表 6-5-1. 調査実施時期と事業量

計画年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	
対象ブロック					・雨天時浸入水発生区域 ・あきる野市第三大塚-3	・あきる野市第三大塚-2	
管きよ調査 (m)					27,244	20,109	47,354
マンホールふた調査 (箇所)					963	926	1,889

6-5-2. 腐食環境下

点検の実施時期と事業量を表6-5-2に示す。

また、調査は一般環境下における処理分区優先度に合わせて実施する。

表 6-5-2. 点検の実施時期と事業量

計画年	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	
管きよ点検 (m)		2,823 (158箇所)					2,823 (158箇所)
合計		2,823 (158箇所)					2,823 (158箇所)

※ () 内は対象人孔数量

対象施設の位置図を図6-5-1、図6-5-2に示す。

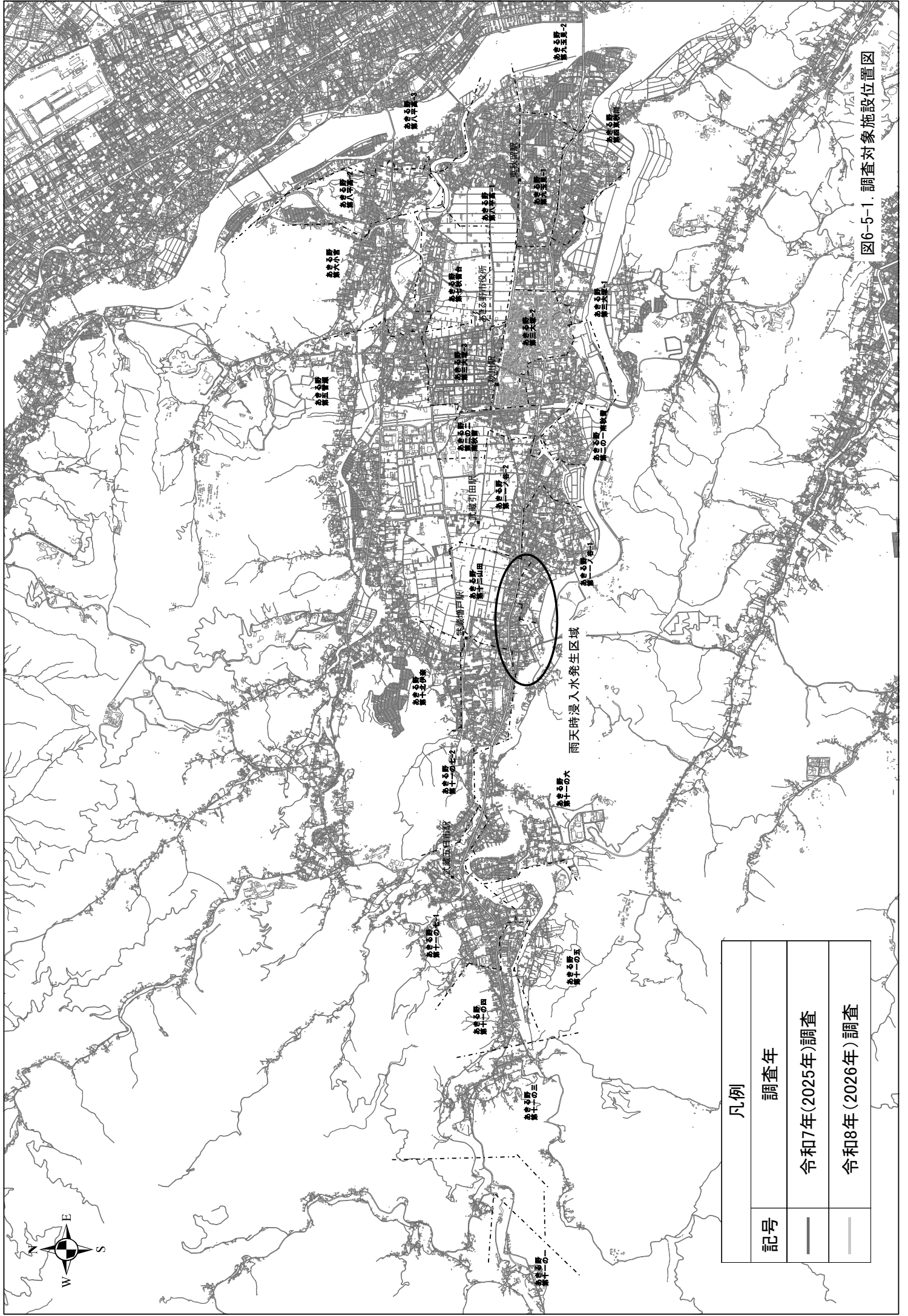


図6-5-1. 調査対象施設位置図

凡例	
記号	調査年
—	令和7年(2025年)調査
—	令和8年(2026年)調査